



危険な空家等の除却について

問 市内の105戸の危険な空家の除却に対する補助制度について伺う。

答 建物解体費に対し、20万円を上限に2分の1を補助する。予算は100万円を8月から案内できるよう準備しており、広報等を通じ、市民や所有者等へ周知し、除却を促進する。

大向正義 (自民党市議員)

「音楽のまち蒲郡」について

問 蒲郡市ジュニア吹奏楽団、蒲郡市吹奏楽団、

蒲郡市シニア吹奏楽団は、「音楽のまち蒲郡」に大きな貢献をしてきた。市民会館での定期演奏会の使用料免除などにより、団体の育成をすべきでは。

答 市民会館の使用料については、蒲郡市民会館条例等にとり、一定の負担をお願いする。また、支援については、蒲郡市教育文化振興事業助成金と合わせて、練習場所の提供を継続して行う。

問 音楽のまちを印象づける音楽祭を開催することで、新たな発表の場としてはどうか。

答 市民会館の利用活性化も含め指定管理者と連携し、新たな発表の場の創出を考え、その一環として検討していく。

鈴木貴晶 (自由クラブ)

投票率の向上について

問 QRコードを活用し、スマートフォンで選挙公報を確認できるようにしている市もあるが、本市は

どのような投票率向上策を検討しているか。

答 防災行政無線での放送、駅前での啓発活動、選挙出前トークを継続する。また、QRコードの活用は10月の市長選からの実施を検討している。

市公式インスタグラムの活用を

問 「いいじゃんがまごおり」を多くの人に見てもらえるように、「#定住促進」などのハッシュタグをつけられないか。

答 投稿内容から連想されるハッシュタグを適宜



つけ、様々な検索にヒットするよう工夫していきたい。

鎌田篤司 (市政クラブ)

身近な集会施設を地域の避難所に

問 集会所等の避難所としての登録や新耐震基準に満たない施設への補助は、届け出があれば立地等を確認し登録する。耐震は補助制度を設けている。

ひきこもり問題への対応は

問 ひきこもりで悩む市民への対応は。

答 子ども・若者相談窓口を設置し、平成30年度は7人の相談に当たった。

高齢ドライバーの交通事故防止策は

問 高齢者安全運転支援装置等搭載自動車購入補助金制度の導入方針は。

答 近隣自治体の状況を把握した上で、先進事例を研究していきたい。

稲吉郭哲 (自由クラブ)

働く場の確保について

問 企業の立地需要の現状は。

答 5月末現在、15社で合計24haとなっている。

問 企業用地が不足する中、市の対応状況は。

答 複数箇所民間事業者の開発計画があり、早期の企業立地実現のため、関係部署で支援体制を整える等の側面的支援を行っている。

消防署西部出張所建て替えまたは移転について

問 実現への具体的な条件について伺う。



消防署西部出張所